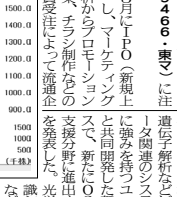
アイドママーケティングコミュニケーション

０２０分野に進出

9月末には株式分割も

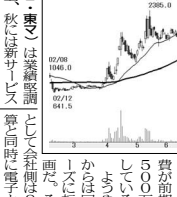
アイドママーケティングコミュニケーション（9466・東マ）に注目。3月にIPO（新規上場）し、マーケティング分析からプロモーション提案、チラシ制作などの一貫受注によって流通企業を対象に販売支援を行う同社。10日は、機械学習や遺伝子解析などビッグデータ開発に強みを持つユニーク社と共同開発した新サービス「ＯＲＯ販促」に食品メーカーなどを対象に展開していくという。足元業績は好調で、通期終了想定売上高は5億7000万円（前比2・5倍）、営業利益8億2200万円（同9・2%増）を見込む中、今期のスタートとなる第1四半期決算は売上高18億6600万円、営業利益2億1800万円の着地となった。5月には西日本エリアを重点営業戦略地域として位置付け、積極的な事業展開を行っていく方針を定めており、さらなる収益拡大に向けた今後の事業展開が注目される。また、同日9月30日を基準日とした1対2株の株式分割も発表しており、この先権利取り妙味も膨らんでくるかもしれない。1100円前後でのもたつきは格好の仕込み場とみられる。



MDV　上値余地「大」

今秋に新サービス本格始動

メディカル・データ・ビジョン（MDV、3922・東マ）は、ヘルスケア分野で、主力事業である医療機関向けITソリューションの強化、医療ビッグデータ事業の拡大、ヘルスケア関連事業の新規開拓などを進めている。具体的な事業内容は年内をメドに公表する予定。また、同社は、ヘルスケアデータ分析による新サービスを今秋に本格始動する。この先権利取り妙味も膨らんでくるかもしれない。1100円前後でのもたつきは格好の仕込み場とみられる。



鴻池運輸

インド鉄道コンテナ輸送市場へ参入

鴻池運輸（9025）は10日、ICDを拠点に、海上コンテナ輸送と鉄道コンテナ輸送を融合させることを発表した。発表を受けて株価は、5月以来となる300円台乗せを目前にとらえてきている。

インドでは2000年代に国家プロジェクトである貨物専用鉄道の開通が予定されており、将来的に輸送ニーズが高まることが見込まれる。なお、新会社の設立は今年10月を予定。鴻池運輸の出資比率は31%としている。

また、グループ会社でメディアスホールディングス（3154・JQ）との共同出資会社が、同じくインドでの同初となる医療材料カタログの完成を発表した。実績には高い評価を得る地場有力企業、豊益な顧客の医療材料メーカーなどが参加。首都圏近郊の医療材料メーカーの専用で、首都圏近郊の医療材料メーカーなどが参加。首都圏近郊の医療材料メーカーなどが参加。首都圏近郊の医療材料メーカーなどが参加。